

# 来週の『売り物』記事はこれ



2016年9月16日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 黒衣に徹して半世紀 カープ支えるトレーナー

18日(日)



プロ野球のセ・リーグで1991年以来25年ぶりの優勝を決めた広島東洋カープ。トレーナー部アドバイザーの福永富雄さん(74)＝写真＝は半世紀以上にわたり、鉄人衣笠ら多くの選手を支え続けてきました。初優勝した75年当初を率いたジョー・ルーツ監督の要求は厳しかったものの、「トレーナーの力で一つ勝てる」という言葉に励まされたと言います。体が資本の選手たち。けがの予防、日々の健康管理などに心を砕き、何度も米国に渡ってスポーツ医学の先端を学びました。コンピューターを導入した科学的トレーニングや、今は肩や肘のケア方法として常識となったアイシングを、いち早く取り入れたのも福永さんです。一方で、つらい別れもありました。脳腫瘍に侵された「炎のストッパー」津田恒実投手には、試合を他のトレーナーに任せてつきっきりとなり、手術にも付き添いました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 「モーレツ社員」やめろというけれど

## できる?できない? 「働き方改革」

夕刊特集ワイド 20日(火)



安倍政権が新たに進めようとしている「働き方改革」。長時間労働を減らし、同一労働・同一賃金の実現を図る——などとしています。スローガンは素晴らしい。ただ問題は、内容が伴うかどうか、本当に働く人たちのためになるのかでしょう。例えば、残業時間の上限規制にどこまで踏み込めるのかなども、ポイントになりそうです。労働問題に詳しい識者の解説や、家族を過労死で亡くした遺族の声を交えて「改革」の行方を探ります。

## 「辰巳芳子さんと生産者」最終回 くらしナビA面 20日(火)

日本の食のあり方を問い続ける料理研究家、辰巳芳子さん(91)は、生産者の農産物づくりに寄り添ってきました。辰巳さんが信頼する生産者の思いを紹介する「辰巳芳子さんと生産者」最終回は、肥料や農薬を使わない無肥料自然栽培で雑穀や豆類を作る北海道幕別町の農家「折笠農場」の折笠健さん(47)を訪ねました。辰巳さんの「一言」も紹介します。



## 原産地表示が迷走

くらしナビA面 24日(土)



消費者庁と農林水産省が検討している加工食品の原産地表示問題が迷走しています。事業者側は「原料は頻繁に変わる。その都度、産地名の表示を変更することは実務的に不可能」と強く反対しています。おおざっぱな原産地表示が容認されれば「大豆(輸入または国産)」のように消費者にとって全く無意味な表現が登場する可能性も。議論の現状を報告します。



上方落語の桂米團治さんが各界で活躍中の女性と対談する「粹な噺で行きましょう」。今回は直木賞作家の朝井まかてさんをお迎えしました。2カ月に1冊のハイペースで話題作を世に出している朝井さんと、表現することの原動力や受け手との向き合い方について語り合います。朝井さんのルーツである沖縄の躍りも飛び出すほど盛り上がった対談をお楽しみください。



## クリントンVSトランプ

### 米大統領選を読み解く

オピニオン面 【論点】 23日(金)



投票日まで残り2カ月を切った米大統領選。支持率でリードしていた民主党候補ヒラリー・クリントン前国務長官ですがここに来て健康問題が急浮上し、共和党候補ドナルド・トランプ氏が激しく追い上げています。過激な発言のトランプ氏と、初の女性大統領を目指すクリントン氏の一騎打ちは26日のテレビ討論会が最大のヤマ場。最新情報でその構図を読み解きます。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。